

一九八八年一〇月六日 総会記録

一、議長に服部会員を選出した。
二、事務局報告

(一) 一九八八年度事業報告

第一九八七年一〇月六日 第一回運営委員会、一九八七年二月六日 第二回運営委員会、一九八八年五月七日 宿題委員会と合同で第三回運営委員会、八月二〇日 第四回運営委員会、一〇月六日 第五回運営委員会を開催した。

一九八八年一月一日 研究通信 No. 二五二 (二〇頁)、四月二〇日 No. 二五三 (二二頁)、六月二五日 No. 二五三 (三二頁)、九月二五日 No. 二五四 (四〇頁) を発行した。

(二) 共通課題について

第二回運営委員会において、共通課題を「農村社会編成の論理と展開—転換期における家と村落」に決定し、合わせて、宿題委員を選出した。

一九八八年五月七日 運営委員会と合同で第一回宿題委員会、六月一日 第二回宿題委員会を、また二月六日 第一回研究会、五月七日 関東・東京地区研究会、五月二二日 中部・近畿地区研究会、七月九日 東北地区研究会、七月二〇日 第二回研究会を開催した。

(三) 会員動向

一九八八年度中に入会二七名、退会等二五名があり、九月三〇日現在の会員は三三二名(内住所不明二名を含む)である。

三、会計報告・会計監査報告

(一) 一九八八年度会計報告 左記の通りである。
(二) 一九八八年度会計監査報告

高山会員から、前記会計報告が適正である旨の報告があり、承認された。

四、一九八九年度計画について

(一) 次期の事務局は中央大学・吉沢四郎会員がお引き受け下さる。次期の大会事務局は早稲田大学・柿崎京一会員がお引き受け下さる。場所は飛騨・白川郷の予定。

(二) 一九八九年度予算案について

原案通り承認した(掲載省略)。

五、英文名称、英文タイトルについて
本会の英文名称を“The Japanese Association of Rural Studies”に、また、年報の英文タイトルを“Annual Bulletin of Rural Studies”にすることが承認された。

六、編集委員会報告

安原編集委員より、次のような報告があった。①年報二四集を農文協より刊行した。②年報二四集では、装丁の変更、英文目次や海外研究動向の新設等を行った。③農文協との間に覚書を交わした。

七、学術会議関連報告

高橋(明)会員より次のような報告があった。①社会学会が推薦した青井和夫、杉之原寿一、北川隆一の各氏が第一四期の会員になった。②社会学研究連絡委員会は二〇学会二二名から構成されるが、今期は部落問題研究会から会員が出ていたので、委員の枠を本会に譲った(部落問題研究会と村落社会研究会とで交互に委員を出すこ

とになっており、今期は部落問題研究会の順番であった。③研連においては、構成学会間の交流を進めることになっている。④第七回世界農村社会学会に出席した(研究通信No.一五四で既報)。それとの関連で、外国対応の窓口として渉外委員会の設置を検討したい。八、運営委員の改選について

次の方々が、新しく運営委員に選出された。

北海道 大沼盛男、酒井恵真、白樫久、布施鉄治

東 北 安孫子麟、岩本由輝、大川健嗣、細谷昂、松岡昌則

東京関東 相川良彦、磯辺俊彦、柿崎京一、柄沢行雄、

黒崎八洲次良、工藤清光、佐藤康行、島崎稔、高橋明善、

高山隆三、蓮見音彦、長谷川明彦、東敏雄、松田苑子、

安原茂、吉沢四郎、若林敬子

中 部 交野正芳、中田実

近 畿 嘉田由紀子、北原淳、鳥越皓之、橋本和幸、松本通晴

中国四国 大野晃、徳野貞雄

九 州 蘭信三、米沢和彦

1988年度会計報告

(1987.10.7~1988.9.30)

1. 収入の部

科 目	87年度決算	88年度決算	備 考
前年度繰越金	689,460	1,243,345	
年会費	1,330,886	1,041,000	
利	9,449	9,476	
雑収入	0	6,920	
計	2,029,795	2,300,741	

2. 支出の部

科 目	87年度決算	88年度決算	備 考
「通信」印刷費	469,000	570,000	
「通信」郵送料	151,140	186,350	
その他印刷費	57,950	43,500	
連絡通信費	25,860	62,320	
編集委員会	0	10,700	
議師費等	0	10,310	
講師謝礼	10,000	5,000	
交通費補助	30,000	40,000	
消耗品等	2,500	5,550	
事務局交通費	40,000	40,000	
事務支	0	49,280	
雑	0	0	
小計	786,450	1,023,010	
前年度繰越金	1,243,345	1,277,731	
計	2,029,795	2,300,741	